



詳しく知りたい人は二次元コードを読み取っていただき、市ホームページをご覧ください。

### (1) 職員の任免および職員数に関する状況

1. 職員の採用・退職の状況

【採用】令和4年4月1日		【退職】令和3年4月～令和4年3月末						
事務職	保育士	保健師	定年退職	希望退職	普通退職	懲戒免職	計	
8人	3人	1人	8人	3人	7人	0人	18人	

2. 職員数の状況(各年度の4月1日現在) (単位:人)

区分	一般行政部門		特別行政部門			公営企業など			合計
	福祉以外	福祉	教育	消防	病院	水道	下水道	その他	
令和3年度	224	117	88	1	4	11	11	23	479
令和4年度	229	116	84	1	5	10	11	21	477

※水道部門は、淡路広域水道企業団への派遣職員

※職員数は、国・県派遣職員を含む全職員数

### (2) 職員の給与の状況

1. 人件費(普通会計決算)

区分	歳出額合計	人件費	人件費率
令和2年度	32,093,543千円	4,763,421千円	14.5%
令和3年度	30,539,268千円	4,755,704千円	15.6%

※人件費には、市長・議員等特別職の給与や報酬などを含む

※人件費率は、普通会計決算額全体に対する人件費の割合

3. 職員給与費(令和3年度普通会計決算)

職員数(A)	給与費				1人当たり給与費(B/A)
	給料	期末・勤労手当	職員手当	計(B)	
437人	1,611,807千円	664,425千円	264,996千円	2,591,228千円	5,929千円

※職員数は令和4年3月31日現在の普通会計に属する職員数

4. 職員の平均年齢と平均給料月額、平均給与月額(令和4年4月現在)

区分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額
一般行政職	37.2歳	323,712円	367,634円
技能労務職	53.9歳	303,610円	330,170円

※平均給与月額=給料に諸手当を含む

《職員手当の内訳》

扶養手当、住居手当、通勤手当、単身赴任手当、特殊勤務手当、時間外勤務手当、宿日直手当、管理職手当

6. 一般行政職の級別職員数(令和4年4月1日現在)

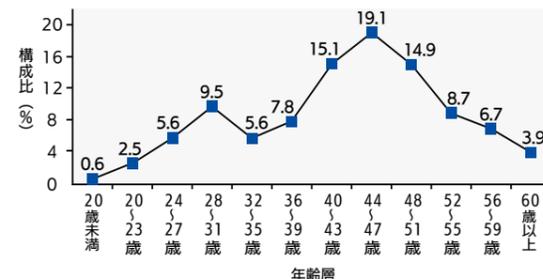
区分	主な役職	職員数	構成比
7級	部長・事務局長	11人	2.4%
6級	副部長・事務局長・課長	38人	8.5%
5級	課長・主幹・副課長・室長	57人	12.7%
4級	係長・主任	179人	39.9%
3級	主査	81人	18.0%
2級	主事	53人	11.8%
1級	事務員	30人	6.7%
	計	449人	

※一般行政職=医師・看護師・技能労務職等の専門職は含まない

市職員の任免や給与の実態をお知らせします。詳細は市ホームページと総務課で閲覧できます。

☎総務課 ☎ 43-5001

3. 年齢層別職員の構成比(全職員)

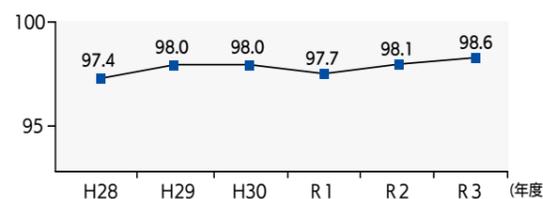


2. ラスパイレス指数(令和3年度)

南あわじ市	類似団体平均	全国市平均
98.6	97.5	98.8

※ラスパイレス指数=国家公務員の給与水準を100とした場合の地方公務員の給与水準を示す指数

※類似団体平均=人口規模、産業構造が類似している団体のラスパイレス指数を平均したものの



5. 期末・勤労手当(令和3年度実績)、退職手当(令和4年4月1日現在)

期末・勤労手当支給割合			退職手当支給割合		
支給期	期末手当	勤労手当	区分	自己都合	希望・定年
6月期	1.275月分	0.95月分	勤続20年	19.6695月分	24.586875月分
12月期	1.275月分	0.95月分	勤続30年	34.7355月分	40.80375月分
合計	2.55月分	1.90月分	最高限度	47.709月分	47.709月分

### (3) 職員のサービスの状況

1. 年次休暇の取得状況(令和3年1月～12月)

対象人数	総付与日数	総取得日数	取得率	平均取得日数
405人	15,927日	3,757日	23.6%	9.3日

※対象人数は、全期間在職した者とし、育児休業者や退職者等を除く

2. 育児休業、部分育児休業の取得状況(令和3年度)

区分	新規取得可能者	取得者	取得率
育児休業(女性)	9人	9人	100.0%
育児休業(男性)	7人	2人	28.6%
部分育児休業	—	7人	—

※これらの休業制度は無給です

## 主な令和3年度事業

### 緊急総合対策事業 22億4,796万円

新型コロナウイルス感染症について、本市では第1次から第4次までの「緊急総合対策事業」を実施しました。「必要となるところへ必要な措置を」との考え方のもと、生活困窮者や生産者支援を行うとともに、ポストコロナによる新たな価値観への対応を行うべく各種施策を展開しました。

### I. 安全・安心確保の取り組み

#### 新型コロナワクチン接種

衛生費 3億724万円

新型コロナワクチンの早期接種完了のため、南あわじ市医師会や歯科医師会と連携し集団接種や個別接種を実施。また、ウェブ予約システムや相談体制(コールセンター)の整備を行いました。



#### 感染拡大の防止

民生費、消防費、土木費、教育費 9,970万円

保育所・幼稚園等や子育て関連施設での感染拡大防止のため、マスクや消毒液などを購入しました。また、避難所用感染症対策物品の整備や地域公共交通事業者が講じる感染防止対策に要する経費に対して補助を行いました。

#### 生活の安全・安心の確保

総務費、民生費、農林水産業費 13億868万円

新型コロナウイルス感染症の影響下において、住民税非課税世帯等特別給付金、子育て世帯への臨時特別給付金、生活応援給付金などの支援を行いました。

### その他の事業

#### 私立認定こども園整備事業

民生費 1億3,621万円

私立認定こども園が安全安心な保育環境の整備のために行う施設の改修や防犯対策強化に補助を行いました。



#### 大鳴門橋周辺環境整備事業

商工費 1億4,350万円

淡路島南ICから道の駅うずしおまでの整備の一環で、交通拠点施設の基本設計や既存施設の解体などを実施しました。



### II. ポストコロナに対応した社会経済基盤強化の取り組み

#### 市内消費喚起の推進

商工費 2億218万円

新型コロナウイルス感染症による消費の落ち込みを回復させるため、市内で利用できるプレミアム付商品券やデジタル地域振興券の発行を行いました。また、キャッシュレス決済推進のため、市独自のポイント還元を行いました。

#### 事業者への支援

農林水産業費、商工費 5,605万円

市内事業者に対して、中小企業者等企業力アップ促進事業、新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金、利子補給などの支援を行いました。

### III. 新たな価値観で生じた需要獲得の取り組み

#### デジタル利用の促進

総務費、商工費、教育費 1億4,901万円

コロナ禍で生じた新たな需要を獲得するため、コワーキングスペースやテレワーク施設などを整備しました。また、シニア世代に向けてスマホ講座などを行いました。



#### ハザードマップ更新事業

消防費 1,499万円

洪水、土砂災害、高潮の被害想定の見直しを反映したハザードマップを作成し、市内全戸に配布を行いました。



#### 小学校大規模改修事業

教育費 4億7,969万円

小学生の安全確保のため、賀集小学校、松帆小学校、志知小学校の大規模改修工事を実施しました。

